

令和8年度当初予算（案）

**「志摩・つながる未来」予算**

～志摩のあしたをあなたと一緒に～

# 令和8年度 5つの重点分野

## 防災・減災対策

重点分野1 防災・減災・地域強靱化の推進

15億541万円

## 人口減少対策

重点分野2 未来を創る子ども・若者政策の推進

3億1,709万円

重点分野3 安心して働き、暮らせる生活環境の創生

1億5,871万円

## 選ばれる地域づくり

重点分野4 持続可能な観光地域づくりの推進

2億2,700万円

重点分野5 「自慢できる新しい志摩市」の実現

4,208万円

令和8年は、東日本大震災から15年、熊本地震から10年という節目の年です。これまでの教訓を改めて胸に刻むとともに、近年の能登半島地震やカムチャツカ半島沖地震等の教訓も踏まえ、南海トラフ地震の新たな被害想定に対応した、災害に強い地域を構築します。

### 主な事業

◎：新規事業    ○：一部新規事業    ★：リニューアル事業

#### ○ 避難所環境整備事業

7,142万円

良好な避難生活環境を確保するため、R8は、スフィア基準を踏まえ、折り畳み式簡易ベッド、エアーマット等の物資の配備や施設整備を進めます。

特に、高い衛生基準が求められる市指定福祉避難所には、AI技術を活用した水循環型手洗い機器を配備します。



#### 防災物流拠点整備事業

1億7,538万円

大規模災害発生時において、国や県、関係機関からの支援物資を円滑に受け入れ、被災者へ迅速に届ける体制を確立するため、阿児清掃センター跡地に防災物流拠点倉庫を整備します。

R8は、造成工事や、建設設計等を行います。



#### 津波避難対策施設整備事業

7,124万円

住民の生命と身体の安全を確保するため、志摩市津波避難計画における特定避難困難地域において「逃げ遅れゼロ」をめざし、津波避難施設等の整備を実施します。

R8は、片田地区の津波避難タワー整備に向け、測量・調査・設計等を行います。

#### ◎ 防災行政無線更新整備事業

6億7,896万円

防災行政無線の安定的な運用と確実な情報伝達を行うため、老朽化した整備やシステムの更新を行います。

更新とあわせて、複数メディアへの一斉配信システムを導入するなど、迅速な配信と伝達手段の多角化を進めます。

#### ◎ 被災者支援システム整備事業

1,351万円

大規模災害発生時において、迅速な被害認定と罹災証明書の発行、被災者の個々の状況にあった相談支援等を行うため、能登半島地震においても活用実績のある被災者支援システムを導入し、支援体制の構築を図ります。

#### ★ 防災対策一般経費(津波ハザードマップ作成)

604万円

三重県が公表する最新の南海トラフ地震被害想定や、新たに指定を計画している「津波災害計画区域」の内容を反映した「津波ハザードマップ」を作成・配布し、啓発活動を展開します。

人口減少対策として、子ども・子育て支援の充実と若者の挑戦を支える環境整備を加速させます。あわせて、公共交通や医療・介護の維持・確保を進めるとともに、「民」の力を活かした地域の課題解決に取り組み、誰もが将来に希望を持ち、安心して暮らし続けられるまちを創ります。

### 主な事業

◎：新規事業 ○：一部新規事業 ★：リニューアル事業

#### ○ 企業誘致推進事業

1,170万円

企業誘致に向け、戦略的な情報発信、進出企業への切れ目のない支援を行います。

R8は、新たな取組として、英虞湾などの海域等をフィールドとして海洋先端技術（マリンテック）等の実証実験を行うスタートアップ企業等に対する支援を行います。

#### ○ 関係人口創出事業

747万円

関係人口の創出をめざし、子育て世帯やフリーランスを対象に、暮らしの体験プログラムを提供し、新たな人の流れの創ります。

R8は、保育園留学の受入体制の整備に加え、クリエイター等を対象とした二地域居住体験モニター事業を新たに実施します。

#### ○ 妊婦健康診査事業

2,266万円

安心して妊娠・出産できる体制を確保するため、妊婦健診・妊婦歯科健診の費用を助成します。

R8は、産科医療機関等への移動に概ね60分以上を要する妊産婦に対し、分娩、妊婦・産婦健診にかかる交通費を新たに助成します。

#### ○ 子どもの居場所づくり事業

170万円

学びの機会を保障するため、放課後の学習支援「こども未来教室」を運営するとともに、通いやすい環境に校外・校内教育支援センターを整備し、居場所づくりを進めます。

R8は、文岡中学校内に校内教育支援センターを新たに開設します。



#### ○ コミュニティバス運行事業

6,676万円

路線バス等を補完する新たな移動手段として、デマンド交通等の導入を進めます。

R8は、大王・志摩地区でデマンド交通の本格運行、阿児地区では実証運行を行います。

浜島地区では一般ドライバーを活用した予約運行型バスの実証運行を行います。



#### ○ 空き家利活用産官学連携事業

1,455万円

高等教育機関や民間団体と連携し、空き家の活用促進など、地域課題の解決に取り組みます。

R8は、空き家の利活用と地域の活性化の核となる相談・交流拠点の創出をめざし、連携する団体が行う空き家改修費用の補助や「（仮称）志摩市空家・移住サポートセンター」の運営体制の構築に向けた支援を行います。

伊勢志摩国立公園指定80周年を契機ととらえ、マネジメント体制の強化やインバウンドを含む観光誘客の拡大を図るとともに、基盤となる地域産業の活性化を図ります。あわせて、戦略的な情報発信とデジタル技術を活用した庁内DXにより施策の実効性を高め、誰もが愛着と誇りを持つ「自慢できる新しい志摩市」の実現をめざします。

### 主な事業

◎：新規事業    ○：一部新規事業    ★：リニューアル事業

#### ◎ 志摩を知る認知度向上事業

2,733万円

首都圏における本市の認知度を高めるため、メディアツアー等のメディア関係者の取材意欲を高めるアプローチや、民間企業や省庁との連携によるイベント、航空機内でのプロモーションなど、多面的なPR施策を展開し、誘客につなげます。



#### ○ インバウンド誘客促進事業

2,176万円

インバウンドの拡大に向け、ターゲット国へのセールスプロモーションなど、官民一体となった誘客促進に取り組みます。

R8は、重点市場と位置付ける香港・台湾において、現地代理店によるレップ業務（常駐型代理営業）を新たに展開します。あわせて、台湾をターゲットとしたトップセールスやFAMツアーなどを実施します。

#### ◎ 志摩で過ごすちょうどいい時間創出事業

3,890万円

滞在時間の延長と観光消費額の拡大をめざし、来訪者が快適に移動できる環境を整えるため、周遊バスのルート拡充や、タクシー車両や電動マイクロモビリティの活用など、新たな二次交通の実証・導入に取り組みます。あわせて、北海道・東北・九州・沖縄等の遠隔地からの誘客を強化します。

#### ★ 水産業新規就業者確保・定着支援事業

712万円

漁業者の減少と高齢化が進行する中、将来の担い手となる新規就業者を確保し、円滑な着業と、地域への定着を支援します。

R8は、新たに、民間人材派遣企業との連携を行い、従事者を計画的に確保します。



#### ◎ 伊勢志摩国立公園指定80周年記念事業

915万円

伊勢志摩国立公園指定80周年の機をとらえ、地域の魅力を市内外に広く発信し、魅力を再認識するための記念事業を実施します。

英虞湾クルーズと連携し、夜間に打ち上げ花火を実施し、船上鑑賞という非日常体験を創出します。



#### ○ DX推進事業

783万円

すべての職員がDXの重要性を認識し、デジタル人材としての資質を高められるよう、階層別に応じたDX研修を実施します。

R8は、DXの基礎研修に加え、生成AIの効果的な活用に向けた研修に取り組みます。



# 物価高騰対策

食料品等の物価高騰が続く中、国・県の対策との連携を図り、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を最大限に活用し、市民生活に対する切れ目のない支援を行います。

## 主な事業

### 水道料金減免事業

1億3,473万円

令和7年度に8か月間実施した水道料金の減免について、令和8年度も引き続き、4月から水道料金の基本料金を4か月分免除し、家計や事業活動を支援します。

- ・対象：官公庁を除くすべての給水契約者
- ・減免期間：令和8年3月使用分（4月検針分）から6月使用分（7月検針分）まで
- ・効果額：4か月で1世帯あたり約6,000円軽減  
※口径13mm（一般家庭用）の場合

### プレミアム付き商品券事業

3億3,605万円

生活者の負担軽減を図るとともに消費活動を喚起するため、物価高騰の影響を受ける全市民を対象に、市内の店舗で使用できるプレミアム付商品券(しまスマイル商品券)を販売します。

- ・販売額：1冊10,000円を3,000円で販売  
(プレミアム額7,000円/プレミアム率約233%)
- ・販売時期：6月～7月
- ・利用時期：7月～10月